

令和元年度第6回新潟市清掃審議会会議概要

開催日時	令和元年9月5日（木）午後2時～午後3時30分	
会場	新潟市役所 本館 6階 執行部控室	
出席者	出席委員	山賀会長、中澤副会長、西海委員、西條委員、住吉委員、阿部委員、石井委員、井下田委員、石本委員、鶴巻委員、小林委員 計11名 (欠席 関谷委員、鈴木委員、星島委員)
	事務局	環境部長、循環社会推進課長、廃棄物対策課長 ほか
主な議事	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 報告 <ul style="list-style-type: none"> (1) 平成30年度ごみ・資源組成調査の結果について 3 議題 <ul style="list-style-type: none"> (1) 新潟市一般廃棄物処理基本計画の改定について（審議） <ul style="list-style-type: none"> ・施策1 2Rの推進によるごみの減量 ・施策2 さらなる資源循環の推進 ・施策3 意識啓発の推進 ・施策4 市民サービスの向上 ・施策5 地域の環境美化の推進 ・理念、施策の視点、数値目標、指標 4 その他 5 閉会 	
	<p><審議の進め方></p> <p>それぞれの議題について資料に基づき事務局が説明を行った後、委員からの意見・質問を受け審議を進めた。</p>	

<p>主な議題</p>	<p><報告> (主な質問・意見等)</p> <p>(1) 平成 30 年度ごみ・資源組成調査の結果について</p> <p>○ 意見・質問等なし</p> <p><議題></p> <p>(1) 新潟市一般廃棄物処理基本計画の改定について (審議)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施策 1 2R の推進によるごみの減量 ・ 施策 2 さらなる資源循環の推進 <p>○ 1-2 生ごみ・食品ロスの減量の今後の方向性について、市はフードバンクと連携してフードドライブ事業を行っているので、盛り込むべきではないか。</p> <p>市～すでに連携している事業があることを踏まえ記述する。</p> <p>○ 1-1 リデュースの推進の今後の方向性について、ごみを「なるべく」出さない生活とした方が良いのではないか。</p> <p>市～意見のとおり修正する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施策 3 意識啓発の推進 <p>○ サイチョプレスはいつ発行されるのか。また、新聞と一緒に配布か、それとも個別に発送されるのか。</p> <p>市～不定期で年間 7 回発行している。配布方法は市報と同じ、新聞折り込みであり、新聞未購読者には、申し込みをいただいたうえで郵送している。</p> <p>○ 市報にいがたと一緒に発行ができないか。</p> <p>市～内部調整が難しいが、ご意見は検討する。</p> <p>○ 出前講座の取り組み実績を教えてほしい。</p> <p>市～平成 30 年度は小学校 4 年生向けに 58 校、未就学児向けに 80 か所で実施した。</p>
-------------	---

・施策4 市民サービスの向上

- 4-1 高齢者等への支援の充実、「新たに支援が必要な方」とは具体的にどのような方が説明いただきたい。

市～ 今後新たに支援が必要な方が想定されるのではないかと思います。描いているが、具体的な対象者は決まっていない。

- 「超高齢化社会」「超高齢社会」という表現があるが、統一した方が良いのではないか。

市～ 表現を統一したい。

- ごみ出し支援のことを知らないという声を聞く。

市～ 地域包括センター等と協力し広めたい。

- 町内会長等へ広めてほしい。

市～ 各自治会・民生委員に個別に話をする等続けていく。

- 「支援団体がない」という記載があるが、自治会・コミュニティ協議会・民生委員等でも申請が可能であるということを入れたほうが良いのではないか。

市～ 表現を工夫したい。

- 「支援団体がない」というのはどのようなことか。

市～ 全ての自治会・町内会が登録に至っていないため、そのような記載となっている。

- 町内会が支援できないのであれば、行政が要支援者を推測し支援できるようにすべきではないか。

- ごみ出し支援の課題に対する今後の方向性がない。

市～ 最後に記載している方向性が対応するものであるが、表現を分かりやすくし改めたい。

- 「在宅医療を行う方」とすると事業系にもとらえられる。

市～ 在宅医療を実際に受けている方を対象としているが、誤解を与えないためにも表現を変えたい。

・施策5 地域の環境美化の推進

- 施策5で完結するのではなく、施策3の推進環境教育の推進等と連携するという方向性を入れた方が良い。

市～ ご指摘のとおり、施策3との連携も考えていきたい。

	<p>○ 休止中の廃棄物関連のポスターコンクールは非常に良い取り組みのため再開していただきたい。また、一斉清掃についても子育て世代を巻き込みながら実施していただきたい。</p> <p>市～ 他部署でも同様の取り組みを実施しているため、参考にしながら方向性を検討していきたい。</p> <p>○ クリーンにいがた推進員の活動や地域の環境美化の取り組みなどを周知していただきたい。</p> <p>市～ 7月発行のサイチョプレスでクリーンにいがた推進員の活動について掲載した。今後は、市報や区役所だより等の活用も検討しながら活動についてさらに広めていく。</p> <p>○ クリーンにいがた推進員は自薦と他薦のどちらで選出されるのか。</p> <p>市～ 自薦、他薦は問わずご活動いただいている。</p> <p>○ クリーンにいがた推進員が地域の茶の間などに出向いて活動について説明する機会を設けることも考えられると思う。</p> <p>○ 住宅地は集積場の設置場所がなく、道路上に設置しなければならない場合もある。市と地域が協働して集積場を管理していただきたい。</p> <p>・理念、施策の視点、数値目標、指標</p> <p>○ 理念については今回提示していただいたもので良い。「循環都市」という表現については、市民が他の計画の都市像と混乱しないように市として表現を統一できるのであれば問題ない。</p> <p>○ キャッチフレーズについては、市民に親しまれるよう、新潟弁を使用するのも良いのではないか。</p> <p>○ 今回の理念はイメージ図がなければ、どのように循環しているのかが分からない。「環境健康都市」の方が市民には分かりやすいのではないか。</p>
傍聴者	2名